

2026 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名：株式会社シャノン
代表者名： 代表取締役 CEO 山崎 浩史
(コード番号：3976 東証グロース)
問合せ先： 執行役員 CFO 友清 学
(TEL：03-6743-1551)

当社の親会社：株式会社イノベーション
代表者名： 代表取締役社長 CEO 富田 直人
(コード番号：3970 東証スタンダード)

繰延税金資産の計上及び通期業績予想（上方修正）の修正に関するお知らせ

当社は、2026 年 8 月 14 日開催の取締役会において、最近の業績の進捗等を踏まえて、本日公表の 2026 年 12 月期第 2 四半期（中間期）決算において繰延税金資産を計上するとともに、2026 年 2 月 13 日に公表いたしました 2026 年 12 月期（2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日）の通期業績予想を下記のとおり修正することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の計上について

当社は、最近の業績の進捗等も踏まえ、今後の課税所得の見積りについて慎重に検討し、繰延税金資産の回収可能性を見直した結果、2026 年 12 月期第 2 四半期会計期間において、当社単体で新たに繰延税金資産 118 百万円を計上いたしました。これにより、当第 2 四半期（中間期）の損益計算書において、法人税等調整額（△は利益）を個別で△118 百万円、連結（子会社における計上額の変動を含む）で△119 百万円計上いたしました。

2. 当期の連結業績予想数値の修正（2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想（A）	百万円 3,000	百万円 350	百万円 349	百万円 289	円 銭 48.77
今回発表予想（B）	3,000	500	498	600	101.25
増 減 額（B－A）	0	150	149	311	—
増 減 率（％）	0	42.9	42.7	107.6	—
（参考）前期実績 （2025 年 12 月期）	3,208	120	64	△27	△5.18

3. 当期の個別業績予想数値の修正（2026年1月1日～2026年12月31日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
前回発表予想（A）	百万円 2,770	百万円 200	百万円 195	円 銭 32.90
今回発表予想（B）	2,770	320	500	84.37
増 減 額（B－A）	0	120	305	—
増 減 率（％）	0	60.0	156.4	—
（参考）前期実績 （2025年12月期）	3,202	71	△21	△4.04

4. 業績予想修正の理由

（連結業績予想）

当社は、事業再構築フェーズとして収益性を重視し、不採算事業の整理や販管費の適正化を断行し、この「選択と集中」により、利益率の改善と持続的成長に向けた強固な経営基盤を再構築してまいりました。また当期に入ってから更なる生産性の向上（仕入や外注費の削減を含む）のため取組みを継続してまいりました。

その結果、前回発表予想時に見込んでいた仕入の削減や期中退職発生による人件費の減少、外注費の削減により通期で売上原価が約110百万円減少する見込みです。また、販売費及び一般管理費につきましても、期中退職発生による人件費の減少、外注費の削減、広告宣伝費の見直しや、減資により外形標準課税の対象外となったことに伴う事業税の減少等により、約40百万円の削減が見込まれます。

これらの結果、営業利益及び経常利益は前回予想を上回る見込みです。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、各利益の増加に加え、期末時点における繰延税金資産の回収可能性の再評価に伴い、上記「繰延税金資産の計上について」に記載のとおり法人税等調整額（利益）を計上することから、前回予想を上回る見込みです。

（個別業績予想）

連結業績予想と同様の理由により、前回発表予想を修正いたしました。

以 上